



日本郵船



株式会社ユニエックスNCT



MITSUI E&amp;S

Iwatani

No.15

令和 5 年 5 月 3 0 日  
東 京 都  
日 本 郵 船 株 式 会 社  
株 式 会 社 ユ ニ エ ッ ク ス N C T  
株 式 会 社 三 井 E & S  
岩 谷 産 業 株 式 会 社

## 東京港における荷役機械の F C 化プロジェクトの実施について

このたび、東京都港湾局、日本郵船株式会社、株式会社ユニエックスNCT、株式会社三井 E&S 及び岩谷産業株式会社は、大井コンテナふ頭において、タイヤ式門型クレーン（RTG）※<sup>1</sup>に燃料電池（FC）※<sup>2</sup>を実装し、水素を燃料とした荷役作業を実施するため、協定を締結いたしました。

本プロジェクトの成果を広く展開することで、荷役機械等の水素利用の普及促進を図り、東京港の脱炭素化を推進してまいります。

記

### 1 プロジェクトの名称

東京港における荷役機械の F C 化プロジェクト

### 2 参画者

- (1) 東京都港湾局
- (2) 日本郵船株式会社
- (3) 株式会社ユニエックスNCT
- (4) 株式会社三井 E&S
- (5) 岩谷産業株式会社

### 3 実施場所

東京都品川区八潮二丁目5番2号

(大井ふ頭6 / 7号バース 日本郵船東京コンテナ・ターミナル内)



### 4 実施内容

- (1) 荷役機械のディーゼルエンジン発電機のF C発電装置への換装
- (2) 荷役機械に対する水素供給体制の構築
- (3) 荷役機械による荷役作業の実施 (荷役機械に対する水素充填を含む)

#### 【荷役機械の換装】



#### 【水素の供給体制】



参画者	分担
(1) 東京都港湾局	東京港における水素活用の普及促進 等
(2) 日本郵船株式会社	全体調整、実施計画、実施場所の提供 等
(3) 株式会社ユニエックスNCT	荷役作業や水素充填作業の実施 等
(4) 株式会社三井E&S	荷役機械のFC発電装置への換装 等
(5) 岩谷産業株式会社	水素燃料の調達、運搬及び供給 等

## 5 今後の予定

**令和5年（2023年）**：事前調査・実施計画、FC発電装置等の設計・製作 等

**令和6年～7年（2024年～2025年）**：荷役機械のFC発電装置への換装、  
水素を燃料とした荷役作業の実施、検証 等

※1 タイヤ式門型クレーン（RTG: Rubber Tired Gantry crane）：両端にタイヤ付きの脚を設け、  
地上にレールを設置しなくても走行することができるクレーンのこと

※2 燃料電池（FC: Fuel Cell）：水素と酸素を化学反応させて、電気を発電する装置のこと

### 【問合せ先】

#### （東京港の脱炭素化に関すること）

東京都港湾局港湾経営部 物流企画担当課長 小野澤  
電話 03-5320-5528 都庁内線 43-207

#### （プロジェクト全般に関すること）

日本郵船株式会社 ライナー&ロジスティクス事業統轄本部  
港湾グループ 森本  
電話 03-3284-5391

#### （プロジェクトで使用する荷役機械に関すること）

株式会社三井E&S 物流システム事業部  
営業部 山中  
電話 03-3544-3906

#### （水素の供給に関すること）

岩谷産業株式会社 広報部  
電話 06-7637-3468